

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年2月1日】第71号



間もなく立春

2月3日(水)は立春, そしてその前日の2日(火)は節分です。グラウンドに雪が舞った日もありましたが, 暦の上とはいえ, 春が近づくのを感じます。また, 2月2日の節分は124年ぶり, 来年と再来年の節分は2月3日に戻るものの, 2025年はまた2月2日が節分になるということを知ると, 暦の面白さを感じます。低学年にこの事象の説明はまだちょっと難しいかもしれませんが, 何にでも興味をもつ農大稲花小の子どもたちです。時々夜空の月の満ち欠けを, 家族で眺めてみてはいかがでしょうか。また, カレンダーに親しむことも理解を助けます。そして, ご家庭では保護者の皆様から, ご自分が子どもだったころの豆まきの思い出などもお話しいただければと思います。



節分用の展示。

図書室前に展示されています。

豆まき用大豆の入った農大稲花小の「みのりマーク入り一合升」は, 限定品(?)です。節分だけでなく, お正月など「和」を演出するインテリアにも合いそうです。

進む 教員の新規採用手続き

農大稲花小は新しい小学校です。来年度からは3学年がそろいますが, 教職員の配置は学年進行に合わせて計画的に行っています。そのため, 毎年, 次年度に向けての教員募集を行い, たくさんのご応募をいただいた中から, 本校に最適と思われる教員の選考を行ってきました。

小学校教育における経験が豊かであること, あるいは, 教員としてさらに成長するための研鑽に十分な熱意を持っていることは当然ですが, 農大稲花小の新しい小学校文化を共に作っていく

ことができる柔軟性のある人材を求めてきました。大切な子どもたちをお預かりする毎日ですので、心身共に健康で安定した対応ができ、さらに、保護者の皆様の信頼が得られる人材であることなど、本校の教員が求られているものは多くあります。

幸い、次年度に向けての新規採用手続きは順調に進んでいます。現在在職中の教職員も、新しい教職員を迎える新年度を前に、子どもたちとしっかり向き合い、さらに研鑽を積んでまいります。

成長する子どもたち

「どうして、息を吐くと白くなるんですか」「冬の野菜が甘いって、本当ですか」「カブトムシがもう幼虫になったけど、大丈夫かな」登校時に楽しい質問をしてくる子どもたちがいます。「アフタースクールで算盤を習っているんだけど、後から始めたお友だちに追い越されちゃった。あんまり練習していなかったせいだと思います」としっかり自己分析のできる子どもがいます(がんばってね)。「僕はジャイアンツファンだけど、ソフトバンクホークスの子がいます。その子のお父さんもホークスファンなんだって」「タイガースファンは?」「うちのクラスにはいないみたい」と楽しそうな会話もあります。隣接する農大一高の外国人教員に通りがかりに「Hello!」と声をかけ「How are you?」と問いかけられて「I'm hungry!」と元気よく答えた1年生もいました(朝食は、しっかり食べてきたそうですが)。

子どもたちの日々の成長はうれしく楽しいものです。一日中子どもたちと接する担任ほかの教員は、子どもたちの成長を様々に実感しています。しかし、子どもたちの成長は一直線ではありません。すくすくと伸びる様子が見られる中で、時には立ち往生したり回り道をしたりすることもあります。それぞれの個性をよく理解しながら、子どもが自ら成長できる力を養うようにするのが教育です。技能や知識の習得に代表される学習面の成長は当然のことですが、農大稲花小が教育指標として掲げる「10の能力」が着実に身につくための成長を助けるように指導を続けてまいります。

大切な体調の管理

新型コロナウイルスの猛威は収まらず、緊急事態宣言の解除がどうなるかもまだ予断を許さない厳しい状況が続いています。農大稲花小でも予定していた1年生の多摩動物公園への遠足、2年生の新江の島水族館への遠足がそれぞれ中止(延期)となったほか、引き続き、感染防止を第一にした学校生活を行っています。そのような中、児童が学校で体調不良となった場合、保護者の方に速やかなお迎えをお願いしています。お迎えを待つ間の子どもたちはさぞ心細く、不安なことでしょう。

朝ごはんをきちんと食べる、夜は早く眠りにつくなどの当たり前の生活習慣や、子どもの体力

に合わせた週末の過ごし方などが健康を守り，学校で学習に集中できる体調に導きます。本校では英語の復習（REP）以外は，宿題をなるべく出さないようにしています。とくに低学年の間は，帰宅後は家庭でゆっくりと心身を休め，家族とともに本を読んだり，お話をしたりする楽しく穏やかな時間が大切だと考えているからです。

毎日，家でも学校でも元気いっぱいな様子なら安心です。しかし，ご家庭で疲れた様子，落ち着かない様子，いらいらした様子などを見せるようでしたら，日ごろの生活を見直す機会としていただければと思います。



東京農大世田谷キャンパスの霜柱。年に数日だけ，霜柱が立ちます。



アイスプラント

水晶のような粒とごく軽い塩味のする野菜 アイスプラント。とはいえ，原産地はアフリカのナミブ砂漠だそうです。寒い時期，アイスにちなんでご紹介させていただきました。最近は，国産品を書くことができます。

校長 夏秋 啓子